

公益社団法人 広島市シルバー人材センター

令和4年度



事務局だより 10月号

令和4年度 地域世話人会議を開催しました

9月29日（木）、シルバー人材センター本部4階研修室において、令和4年度地域世話人会議を開催しました。

この会議は、小学校区単位に組織された地域班において、会員と事務局のパイプ役として活躍いただいている地域世話人の方々にお集まりいただき、事務局との情報交換等を行うもので、地域世話人70名が出席されました。

<伝達事項>

- ① 第五次基本計画及び令和4年度事業概要
- ② 地域世話人の役割
- ③ 会員動向調査※
- ④ 行事の開催等
 - ・「シルバーの日」のボランティア
 - ・健康増進事業「ボウリング大会」
 - ・同好会活動の紹介
(読書、切り絵、ウォーク)
- ⑤ 「てごサポートサービス（てごサポ）」



今年度からの新規事業「てごサポートサービス（てごサポ）」の説明では、地域世話人からも賛同の声をいただき、会議終了後には、約30名が「てごサポ会員」に登録されました。

地域の団体・組織と連携し、窓口を増やすのは良い考え!

てごサポ会員に登録して、シルバーを盛り上げていきたい!



※会員動向調査実施中!!

地域世話人が、会員の皆様にお電話をお掛けするなどして簡単なご質問をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いします。

第 2 3 期 植木スクール

9月30日（金）、シルバー人材センター本部4階研修室において、令和4年度（第23期）植木スクールの修了式を行いました。

5月9日から9月21日までの長期間にわたり、樹木医である堀口力講師の講義・実技指導などの研修を受けた受講生9名に、笹口事務局長から修了証が手渡され、「安全就業と健康管理に深く留意して、せんだ作業で活躍してください。」と挨拶がありました。

また、堀口講師からは「せんだ会員は植木を好きになり、楽しく仕事をしてください。」と激励していただきました。

受講生の代表から講師と事務局への謝辞があり、修了式は終わりましたが、引き続き就業上の注意など、所属ごとに分かれて打ち合わせを行いました。

修了生の皆さんは、早速10月からせんだ業務に就業されます。これからの活躍に期待しています。



堀口講師から激励の挨拶



修了おめでとうございます！

講師の温かく丁寧なご指導により、植木せんだの技能を習得でき、感謝しています。



実技指導中の様子

今日の感動を忘れず、会員の一人として、皆様の期待に応えていきます。

来年度の「植木スクール」の受講生募集については、1月発行の「シルバーだより」にくわしく掲載しますので、関心のある方はご覧のうえ、お申込みください。

会議開催報告

理事会専門部会 安全・適正就業部会

9月27日（火）、安全・適正就業部会を開催しました。

会議では、7月から8月末までに事故報告のあった傷害事故及び賠償事故の発生状況の報告や、会員の賠償事故12件に対する指導措置について審議が行われ、審議の結果、文書指導3件（うち1名は就業停止）、口頭指導9件が適当とされました。

最近、草刈り作業での賠償事故が多いことから、事務局から事務局だよりやシルバーだよりで注意喚起の記事を掲載したことを紹介しました。また、委員の一人が作成された資料に基づき、事故の原因や防止について発表されました。

続いて、7月に実施した安全・適正就業強化月間の就業現場4か所の視察について、参加された委員から、「会員のみなさんは暑い中、丁寧に仕事に取り組んでおり、熱中症対策についても休憩やこまめな水分補給などを徹底しておられました。」との報告がありました。



理事会専門部会 広報部会

10月4日（火）、広報部会を開催しました。

会議では、「会報ひろしまシルバーだより124号の編集」について事務局から説明し、委員の皆様にご協力をいただき、紙面構成と担当を決定しました。

秋の多彩なイベントの実施状況を掲載し、センターの楽しく魅力的な面を伝えるとともに、「会員のひろば」にも新たな企画を盛り込むなど、紙面の充実について、意見交換を行いました。



傷害事故、賠償事故の発生件数

(各年度9月末現在)

区分	令和4年度	令和3年度	差
傷害事故	11件	11件	0件
賠償事故	19件	9件	10件
計	30件	20件	10件

安全はすべてに
おいて優先する



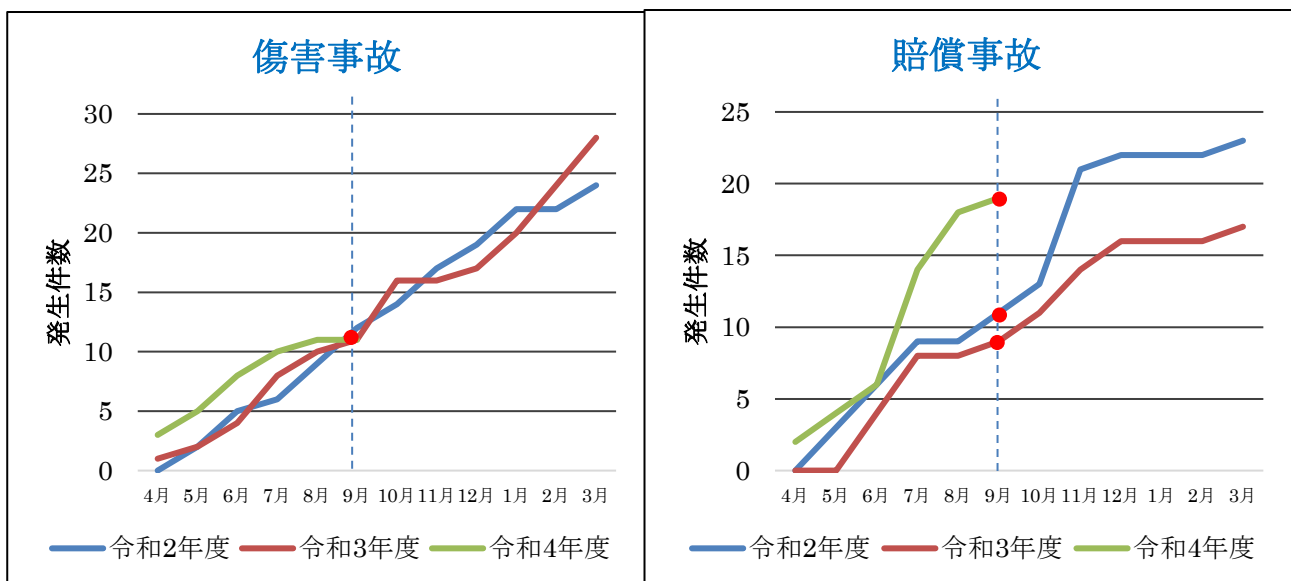
上の表は9月末現在の傷害事故・賠償事故の件数を示しています。前年度に比べて傷害事故は同じ件数で、賠償事故は10件の増加となっています。

また折れ線グラフでは、令和2年度から今年度までの事故の発生状況を示しています。グラフで見ておわかりのように、各年度の9月末現在で傷害事故はほぼ同件数ですが、賠償事故は今年度がもっとも発生件数が多い状況となっています。

緊張感を持って丁寧な作業に心掛けていただき、会員皆さんの努力で、発生件数が1件でも少なくなるよう頑張っていきましょう！

【参考:3か年の事故発生状況比較】

※発生件数は4月からの延数



会員拡大の取組

本年3月に第五次基本計画を策定し、活力ある地域社会の担い手となるシルバー会員の拡大、特に女性会員の加入促進についても重点的に取り組むこととしております。

◆その取り組みとして、9月22日（木）、広島市社会福祉協議会主催の「広島市シニア大学」へ参加し、シルバー人材センターのPRを行いました。



◆広島市地域女性団体連絡協議会には、大会パンフレットに左記の記事を掲載していただきました。

◆また、広島市老人クラブ連合会にも、連合会の会報に当センターの会員募集記事を掲載していただきました。

今後も関係団体と連携して、会員拡大に向けたPRを実施していきます。

市女連女性大会パンフレットに掲載した記事

就業機会拡大の取組

第五次基本計画では、会員の確保とともに、積極的な就業機会の拡大にも取り組むこととし、各種団体等へ当センターの活用について依頼しました。

【広島市老人福祉施設連盟】

介護施設等における、介護周辺業務の切り出し等による要支援高齢者に対する支援業務は、全国シルバー人材センター事業協会が重点項目に挙げていることでもあり、当センターとしても積極的に取り組んでいます。介護施設等での就業拡大を図るため、団体加盟施設へ働きかけのお願いに伺いました。

【広島市教育委員会放課後対策課】

放課後児童クラブの担い手など、子育て中の現役世代や子どもたちへの支援事業も重点項目として挙げており、就業拡大に取り組んでいます。広島市立の各クラブにおいても人手不足であることから、当センターの活用をお願いに伺いました。民間の放課後児童クラブについても、就業開拓に努めて参ります。

【広島市私立保育協会・広島市保育連盟】

現在は、80を超える広島市立保育園で清掃業務やせん定・除草業務を、数園の私立保育園で給食やおやつ調理補助等を受注しています。さらなる就業機会拡大のため、シルバー事業の活用について各園へ周知をすべく、ご協力のお願いに伺いました。

【サンフレッチェ広島】

スタジアムの維持管理などで、当センターを活用していただくようお願いに伺いました。



西部自転車等保管所就業会員の接遇研修を行いました

9月13日（火）～15日（木）、西部自転車等保管所に就業する会員を対象に、佐伯区役所および佐伯区地域福祉センターにて接遇研修を実施しました。

当センター会員の佐々木佐江子会員を講師に迎えた今回の研修には、3日間で計20名の会員が参加されました。対面対応、電話対応とも、その時々で状況が大きく変化することから、このたびの研修はディスカッション形式で行い、互いに意見を交換しながら進めました。

佐々木先生には会員の仕事の状況を聞きながら、接遇に関連させてメンタルケアなどについてもお話しいただきました。

初めての試みでしたが、活発な意見交換となりました。今後の就業に生かしていただきたいと思います。



広島市高齢者作品展に参加しました

9月16日（金）、17日（土）の2日間、まちづくり市民交流プラザ（中区袋町）で開催された広島市高齢者作品展に、3年ぶりに当センターソーイング班の会員が製作した衣類・布製品を展示販売しました。

和服をリメイクした服や、帯を使ったテーブルクロス、チュニック、エプロン、帽子、カバンなど数多くの手作り品が並びました。その丁寧な仕上がりは例年好評を得ており、販売会を楽しみにしているお客様もおられます。

また、会場ではサイズ直しや仕立て、リフォームなどの相談コーナーも設けました。

会員はまた次回に向けて、張り切って製作に励まれています。



入会説明会のお知らせ

より多くの方に入会のきっかけを提供するため、シルバー人材センターの事務所のほか、地域の公民館や区民文化センターにおいて開催します。お知り合いでシルバー事業に関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

なお、各日定員を設けておりますので、ご参加の際は本部事務所へお電話にて申し込みをお願いします。

また、今回開催予定の入会説明会に参加できないという方も、各事務所で随時、入会説明及び受付を行っておりますので、お近くの事務所にお立ち寄りください。



6月の入会説明会の様子

入会説明会日程

開催日時	場 所	定員
10月20日(木) 14:00~	シルバー人材センター本部 4階研修室 (中区西白島町 23-9)	50名
10月21日(金) 14:00~	矢野公民館 3階研修室 (安芸区矢野西五丁目 24-2)	20名
10月24日(月) 14:00~	船越公民館 2階研修室 (安芸区船越五丁目 22-23)	20名
10月25日(火) 13:30~	佐伯区役所 6階 604 会議室 (佐伯区海老園二丁目 5-28)	15名
10月26日(水) 14:00~	瀬野公民館 1階研修室 (安芸区瀬野一丁目 29-21)	15名
10月27日(木) 14:00~	西区民文化センター 3階美術工芸室 (西区横川新町 6-1)	20名
11月2日(水) 14:00~	安佐南区民文化センター 2階中会議室 (安佐南区中筋一丁目 22-17)	30名

※ 説明会は1時間程度で終わります。引き続き入会希望の方には、入会受付を行います。

- 対象 広島市在住で、満60歳以上の健康で働く意欲のある方
- 内容 シルバー人材センター事業について説明します。

入会希望の方は、次のものをご用意ください。

- ・写真2枚(最近撮影したもの 3cm×2.5cm)
- ・会費(年度1,800円、ただし、10月~12月に入会の場合は入会年度に限り900円)

●申込 広島市シルバー人材センター本部 (電話: 082-223-1156)

交流カフェ

日時 : 2022年 11月1日(火)
9:30~11:30

場所 : 広島市シルバー人材センター
本部4階 会議室
(広島市中区西白島町23-9)

高齢者いきいき活動ポイント対象事業(1ポイント)

いき
いき

会員交流の場です。ぜひお越しください!

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって中止する場合がございますので、来られる前には本部事務局へお問い合わせください。

切り絵同好会も 同時開催!!

月に1回、シルバー本部の交流カフェの時(9時30分~11時30分)に開催しています。お気軽にお越しください。



交流カフェ・同好会に関する申込やお問い合わせは
シルバー人材センター本部企画係 上田・小川まで (電話 082-223-1156)

読書クラブ（同好会）のメンバーを 募集しています!!



「読書クラブ（同好会）」が出来ました。

毎週木曜日、メンバーが集まって情報交換を行います。お気に入りの本について語り合いながら、交流を深めませんか!!

会場となるセンター4階ロビーにある本棚には、同好会発起人の大谷さんから提供された本がぎっしり。自由に閲覧することができます。

読書好きな方は、ぜひ一緒に始めましょう!



皆さん、一緒に歩いてみませんか (ウォーク同好会)

ウォーク同好会では、地元広島の魅力を探るとともに、健康づくりを目的として、広島市及びその近郊を四季折々に散策しています。

第4回目の今回は、横川駅から三滝寺までの往復です。三滝で昼食をして帰ります。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

実施日：11月12日（土）

集 合：横川駅南口 10時（弁当・飲物等持参）



同好会に関する申込やお問い合わせは

シルバー人材センター本部企画係 上田・小川まで （電話 082-223-1156）

てごサポ会員募集中！

てごサポートサービス（てごサポ）

広島市シルバー人材センターでは、地域貢献活動として、日常生活のちょっとした困りごとを、ワンコインでお手伝いする「てごサポートサービス（てごサポ）」を始めます。ぜひ、「てごサポ会員」への登録をお願いします。


「てごサポートサービス（てごサポ）」とは？

●サービスの内容

- ・日常のゴミ出し
- ・電球・蛍光灯交換
- ・日用品の買い物
- ・シーツ交換
- ・布団干し
- ・布団取り込み
- その他、概ね20分で出来る生活支援



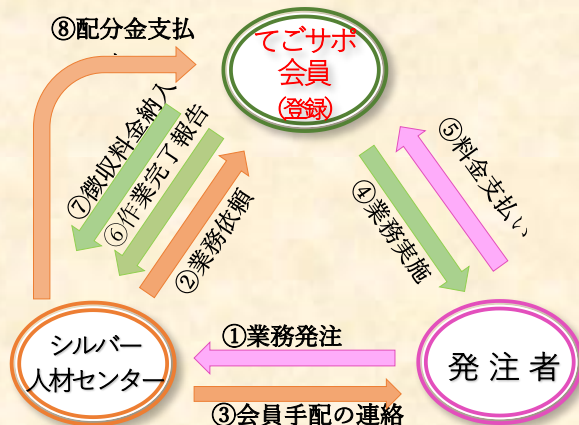
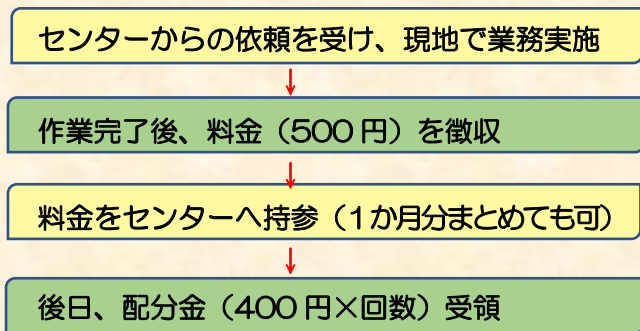
●料金

1業務につき、一律  円

●サービスを行う人

「てごサポ会員」として登録された会員（1業務につき、配分金400円）

●お仕事の流れ



「てごサポ会員」に登録するには・・・

- お電話いただければ、関係資料をお送りします。
- 資料をご覧になり、「てごサポ会員」に登録いただける場合は、同封の「てごサポ会員登録票」を提出してください。（郵送、FAX可）
- 当センター会員以外の方は、入会手続きが必要となりますので、次のものをご用意のうえ、来所してください。
 - ① 写真（最近撮影したもの 3cm×2.5cm）
 - ② 年会費 1,800円（10月1日以降は初年度に限り900円）

常時登録できます

一緒に「てご」しませんか！



自分の都合のつくときに、できる内容でOK！

登録説明会の申込・問合せ → 広島市シルバー人材センター（TEL082-223-1156）

健康 ぷらざ

おう はん 加齢黄斑変性

—ものが歪んで見えたりしていませんか?—

聖路加国際病院 眼科部長 / 聖路加国際大学 臨床教授 小沢 洋子

企画：
日本医師会

No. 558

自覚症状

加齢黄斑変性は、眼底の中心である黄斑(図1)という部分に病変があり、ものが歪んで見えたり、ぼやけて見づらくなったりする病気です。文字や顔の表情が見づらくなったり、車の運転に支障を来したりします。50歳以上の1%以上の方に見られ、最近、増加しています。

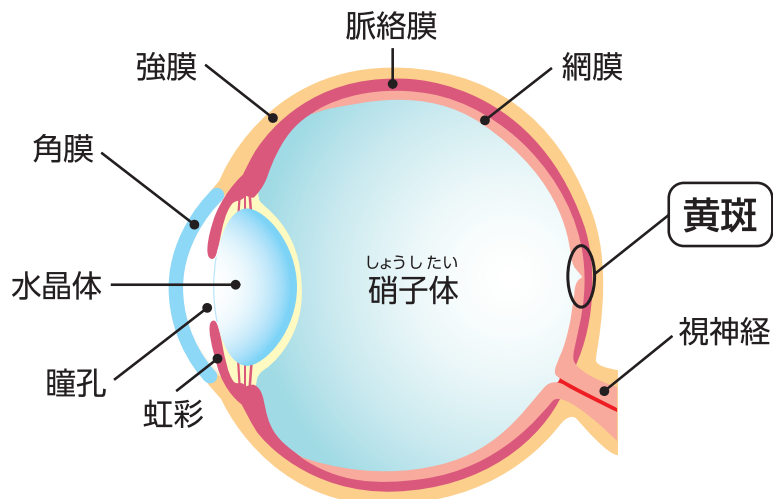


図1 目の構造

病変の状態と治療

加齢黄斑変性は、黄斑部に新生血管という病的な血管が形成され、そこからの出血や滲出物が黄斑部にダメージを与える「滲出型加齢黄斑変性」(図2)と、黄斑部の神経や血管が変性する「萎縮型加齢黄斑変性」の2種類に分けられます。滲出型には、薬剤を眼内(硝子体内)に繰り返し注射する抗血管内皮増殖因子療法(抗VEGF療法)が行われます。治療効果は高いのですが、後遺症が残ることが多いので、早期発見・早期治療が重要です。萎縮型には今のところ



図2 滲出型加齢黄斑変性の眼底写真

治療法がありませんので、予防が重要になります。

発症リスクと予防

加齢黄斑変性の発症リスクには、喫煙、高脂肪食、メタボリックシンドローム、遺伝子の変化などがあります。遺伝子の変化以外は、リスク因子を回避することが予防になります。特に喫煙は世界中のどの疫学調査においても、最大のリスクです。過去に喫煙していても、その後に禁煙を続ければリスクが下がることも知られています。ぜひ禁煙していただくようお願いいたします。

生活習慣を改善し、もしも症状に気づいたらすぐに眼科を受診するのが、今できる最良の方法です。

